



鳩山町長
小峰 孝雄

西入間交通安全協会
鳩山支部長
よしざわ かつひこ
吉澤 恒彦さん

交通安全母の会
会長
たきしょう ひろみ
瀧上 裕美さん

5,000 日達成特別対談

「交通死亡事故ゼロ継続日数」5,000日達成の特別企画として、西入間交通安全協会鳩山支部長の吉澤 恒彦さんと、交通安全母の会会長の瀧上 裕美さんに、鳩山町の今後の「安心・安全」について、鳩山町長と話し合っていました。

町長 この度交通死亡事故ゼロ5000日を達成することができました。町民の皆さまを始め、各団体関係者の皆さまのご協力には誠に感謝しております。

吉澤 5000日というのは、とても長い期間です。歴代の鳩山支部長や理事長による活動の功績も大きなものであったと感じています。

町長 私が町長に就任して最初の半年間で、立て続けに3件事故が起きてしまい、当時、とても思うところがありました。それから13年と9カ月交通死亡事故ゼロが続いて

5000日を 振り返り



ますが、当時を振り返ると、とても感慨深いものがあります。

吉澤 当時町には、特別強化月間として交通安全に取り組んでもらいました。

町長 交通死亡事故ゼロが続き、3000日、4000日などの節目などで、話をしていると、町民の方からは、この記録を止めたくないという声が聞かれるようになり、役場の職員からも、鳩山



吉澤 交通事故が起きているのは事実です。2年くらい前にも熊井の交差点でトラックとバイクが接触する、大きな事故が起きたこともありましたが、

町長 とはいえ死亡事故までにはならずとも、交通事故が鳩山町で起き

吉澤 皆が注意しあうので、鳩山町では注意しなければいけないと思うようになりそうです。

町長 とはいえ死亡事故までにはならずとも、交通事故が鳩山町で起き

町の中に入ると良い意味で緊張すると言った声も聞かれるようになりました。鳩山町内で交通死亡事故が起きていないというのを周知すること自体が、それだけで一定の抑止力になっていると感じています。



更なる安心・安全を目指して

「交通死亡事故ゼロ継続日数」

5,000 日達成



10月12日(水)、交通死亡事故ゼロ5,000日達成を目指して、町内で啓発活動を行いました。

交通死亡事故ゼロ継続日数 県内「最長」記録を更新

鳩山町では、平成21年2月2日に町内で交通死亡事故が発生して以来、交通死亡事故ゼロ(※)の状況が続いていました。令和4年10月12日をもって、交通死亡事故ゼロ記録5000日を達成しました。

この記録は県内の自治体で1位の記録であり、「安心・安全なまち」を象徴する、新たな偉業の一つとなりました。

町内に根付いた 交通安全の意識

今回の記録達成に繋がった一つの要因として、これまで多くの方々と一しよに地道に続けてきた啓発活動があげられます。

この度も、交通死亡事故ゼロ5000日の節目を無事に迎えられるように、令和4年9月中旬には、小峰町長を陣頭に、西入間交通安全協会鳩山支部の他、関係団体にご協力いただき、交通量の多くなる午後の町



▲ 啓発活動の様子(今宿交差点)

内交差点で特別啓発活動を行いました。

また10月12日(水)には、町内の主要な交差点4か所(今宿、石坂、大橋、熊井地区)で、西入間警察署、西入間交通安全協会、西入間交通安全協会鳩山支部及び交通安全母の会の皆さまにより、町ぐるみの交通安全啓発活動を実施しました。

このような活動の輪が地域や学校、家族の中に広がったことで、交通安全の意識が、町民一人ひとりに根付き、今日に繋がること

永遠の交通死亡事故 発生の撲滅を目指して

町では、「安心・安全なまちづくりを交通安全施策の面からも考えており、今後も交通死亡事故ゼロ継続を続けていくために、交通安全普及啓発活動に取り組んでいます。

■問合せ 役場産業環境課 0296-5894

※交通死亡事故とは、交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合を言います。



交通安全協会 からのお願い

秋から冬にかけては日が暮れる時間が早くなる時期です。

歩行者が巻き込まれる交通事故の時間帯は、午後5時から7時の夕暮れ時が多いと言われております。

交通事故に遭わないためにも、歩行者は、夕暮れ時には明るめの服装で出かけ、反射材を身に付けましょう。道路を横断する場合には「横断歩道」を通る、「道路を斜めに横断しない」など、自分の身を守る工夫をしましょう。

また、運転者（車、バイク、自転車）は、夕暮れときには早めにライト（前照灯）を点灯し、速度を抑えた慎重な運転を心がけるなど、不幸な交通事故を無くするための行動をしましょう。

年末が近づくに気持ちに余裕がなくなり事故が発生する確率が高くなりますので歩行者、運転者の皆さんは余裕のある行動を心掛けましょう。

■問合せ 役場産業環境課 ☎ 296-5894

「緑十字銅章」 「県本部長・会長連盟表彰」

表彰式は新型コロナウイルス感染防止により中止となりましたが、下記のとおり表彰されました。

▶交通栄誉章「緑十字銅章」優良運転者

小林 光弘さん

▶交通安全優良学校賞 鳩山町立鳩山中学校

▶埼玉県警察本部長・埼玉県交通安全協会会長
優良運転者 松本 圭吾さん

交通栄誉章「緑十字銅章」優良運転者を受賞された小林光弘さんは、西入間交通安全協会鳩山支部理事として地域の交通安全活動や啓発活動に積極的に取り組まれています。

また、「交通安全優良学校賞」を受賞された鳩山中学校、及び「埼玉県警察本部長・埼玉県交通安全協会会長賞優良運転者」を受賞された松本圭吾さんは、本町の交通死亡事故ゼロの継続にご尽力されております。

▶問合せ 役場産業環境課 ☎ 296-5894



瀬上 熊井の交差点は事故が多いと聞きます。私も中学生の頃あの交差点でトラックとぶつかったことがあります。

吉澤 事故は交差点で多く発生し、特に左折時に比べて、右折時に事故が多い傾向にあります。

瀬上 それはなぜでしょうか。

吉澤 右折車は対向の直進車の間隔があくと無理をして曲がろうとしてしまい、結果事故に繋がることが多いのです。信号が変わるかもしれないと焦っても、落ち着いて一旦止まるのが大切です。

町長 今宿の交差点も危険です。坂戸方面からの道はカーブになっているので、信号が変わるところにスピードを出したまま飛び込んでくるケースが多く、毛呂山町方面から来た自動車と物損事故に繋がったこともあります。今後とも町民の方一人ひとりが、危険箇所を把握して、交通安全に對して注意していただきたいと思っています。

鳩山町の今後の安心・安全に向けて

町長 鳩山町では防犯と

標を立てたいと考えています。前回までは、500日くらいずつ節目の日を区切っていたのですが、ここまできたのですから、1000日単位で、交通死亡事故ゼロの継続記録の目標をたてていきたいと思います。

吉澤 目標は大きく交通事故は少なくということですね。

町長 次の目標は、交通死亡事故ゼロ継続6000日が目標です。1000日、2年半くらいの期間となりますが、今後とも鳩山町の安心・安全に向けて皆さまのご協力をお願いいたします。

町長 カメラ設置の要望は地域等からいくつが出ていますが、人の目が届きにくい箇所を優先して設置していくことになると思います。

今後の目標について

町長 5000日を達成しましたので、新たな目標を立てたいと考えています。前回までは、500日くらいずつ節目の日を区切っていたのですが、ここまできたのですから、1000日単位で、交通死亡事故ゼロの継続記録の目標をたてていきたいと思います。

交通安全対策として防犯カメラの設置を進めていますが、今後も亀井地区を始めとして、町内各地に設置することを考えています。

瀬上 防犯カメラを設置してもらえということ、子どもたちの安全に繋がることが、とても期待しています。亀井地区は、家同士が離れていることもあり、人気の少ないところも多くあります。現在、亀井小では、登校時間にPTAで子どもたちを見守っていますが、共働きの家庭も増えていくので、難しくなっているのも現状です。そのような状況ですので、設置はありがたき思います。

ニュータウン防犯パトロール隊は 地域と子どもたちの安全を見守っています

平成18年に発足したニュータウン防犯パトロール隊は、元々は地域でウォーキングをしながら防犯をする、自主的な活動から始まったものです。

その後、旧松栄小学校、旧鳩ヶ丘小学校が統合することになった際、当時の鳩山小学校から依頼を受け、児童の登下校時に、地域を

地域を見守り16年



▲ニュータウン防犯パトロール隊の皆さん

ニュータウン防犯パトロールの代表、内藤輝昭さんは、「大雨や雪などの悪天候のときは大変ですが、子どもたちも明るく元気に挨拶してくれますし、危険箇所が立っていることや見回りを続けていることで、交通事故防止や犯罪の抑止に繋がっていると感じ

見守る現在のようない形態となりました。

パトロールが事故防止や犯罪の抑止に

特に児童の登校時には、学区内の横断歩道や、危険箇所（合計11か所）に隊員がそれぞれ立ち、児童の安全を見守っています。

午後の見回りは、児童の下校時刻が学年によって違うので、ニュータウンふくしプラザ内に一旦集まった後、松ヶ丘、楓ヶ丘、鳩ヶ丘にそれぞれ分かれて地域をパトロールする形態をとっています。また、地域をパトロールすることで、子どもたちの安全は元より、空き巣や特殊詐欺の抑止にも繋がっていることです。